

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2021-113429

(P2021-113429A)

(43) 公開日 令和3年8月5日(2021.8.5)

(51) Int.Cl.	F 1	テーマコード (参考)
EO4B 1/00 (2006.01)	EO4B 1/00 503	2E038
EO6B 11/02 (2006.01)	EO6B 11/02 Q	5K023
HO4M 1/11 (2006.01)	HO4M 1/11 Z	
HO4M 1/02 (2006.01)	HO4M 1/02 G	

審査請求 未請求 請求項の数 1 O L (全 11 頁)

(21) 出願番号 特願2020-6149 (P2020-6149)
 (22) 出願日 令和2年1月17日 (2020.1.17)

(71) 出願人 000175560
 三協立山株式会社
 富山県高岡市早川70番地
 (74) 代理人 100184066
 弁理士 宮崎 恭
 (72) 発明者 柏 貴夫
 富山県高岡市早川70番地 三協立山株式
 会社内
 Fターム(参考) 2E038 DK07
 5K023 AA05 KK01 PP02 PP13 QQ02

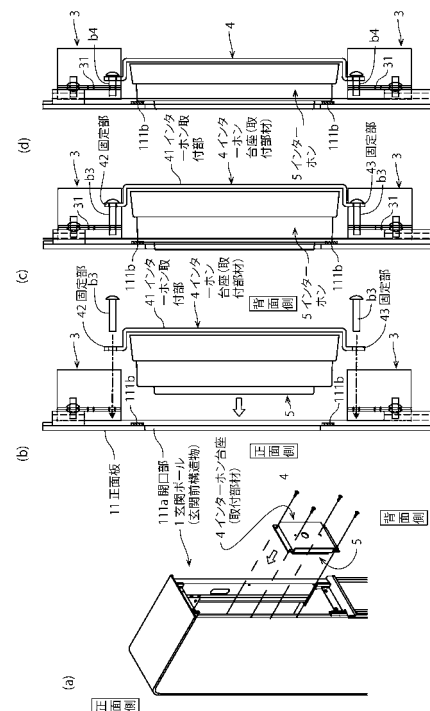
(54) 【発明の名称】 玄関前構造物

(57) 【要約】

【課題】 玄関ポールに対するインターホンの取付けを容易にする。

【解決手段】 玄関前構造物本体と、玄関前構造物本体に取付けられるインターホンと、インターホンを玄関前構造物本体に取り付けるための取付部材を備え、玄関前構造物本体は、インターホンが配置される表面を有するとともに、表面には開口部が設けられており、取付部材は、インターホンを玄関前構造物本体に取り付けるためのインターホン取付部と、取付部材を玄関前構造物本体に固定するための固定部とを有しており、玄関前構造物本体に対する固定の向きを反転することで玄関前構造物本体の表面に対する取付部材の取付部の位置が変更する。

【選択図】 図7



【特許請求の範囲】**【請求項 1】**

玄関前構造物本体と、玄関前構造物本体に取付けられるインターホンと、インターホンを玄関前構造物本体に取り付けるための取付部材を備え、

玄関前構造物本体は、インターホンが配置される表面を有するとともに、表面には開口部が設けられており、

取付部材は、インターホンを玄関前構造物本体に取り付けるためのインターホン取付部と、取付部材を玄関前構造物本体に固定するための固定部とを有しており、玄関前構造物本体に対する固定の向きを反転することで玄関前構造物本体の表面に対する取付部材の取付部の位置が変更する玄関前構造物。

10

【発明の詳細な説明】**【技術分野】****【0001】**

本発明は、建物の玄関の前に設けられる玄関ポール等の玄関前構造物に関する。

【背景技術】**【0002】**

従来、インターホンを有する玄関ポール等の玄関前構造物が知られている。（特許文献1）。

20

【先行技術文献】**【特許文献】****【0003】**

【特許文献1】特開2010-196415号公報

【発明の概要】**【発明が解決しようとする課題】****【0004】**

特許文献1のインターホンが設けられた玄関ポールは、玄関前の所望の位置に設置することで、適宜インターホンを配置することができる。

近年、大きさやデザインが様々なインターホンが開発されており、また、玄関ポールに対するインターホンの取付けについても、さまざまな要望が出てきた。

30

【0005】

本発明は、玄関ポールに対するインターホンの取付けを容易にすることを目的とする。

【課題を解決するための手段】**【0006】**

本発明の一実施形態は、玄関前構造物本体と、玄関前構造物本体に取付けられるインターホンと、インターホンを玄関前構造物本体に取り付けるための取付部材を備え、

玄関前構造物本体は、インターホンが配置される表面を有するとともに、表面には開口部が設けられており、取付部材は、インターホンを玄関前構造物本体に取り付けるためのインターホン取付部と、取付部材を玄関前構造物本体に固定するための固定部とを有しており、玄関前構造物本体に対する固定の向きを反転することで玄関前構造物本体の表面に対する取付部材の取付部の位置が変更する玄関前構造物である。

40

【発明の効果】**【0007】**

本実施形態によれば、さまざまなインターホンの取付けに対応できる玄関ポール等の玄関前構造物を提供することができる。

【図面の簡単な説明】**【0008】**

【図1】本発明の実施形態に係る玄関前構造物の外観図であり、（a）は正面図であり、（b）は側面図であり、（c）は背面図である。

50

【図 2】本発明の実施形態に係る玄関前構造物を構成する正面板の図であり、(a)はインターホンを取り付ける部分の縦断面図であり、(b)は平面図であり、(c)はインターホンを取り付ける部分を背面側から見た図である。

【図 3】本発明の実施形態に係る玄関前構造物を構成する部材を説明する図であり、(a)はインターホンを取り付ける部分の一部縦断面図であり、(b)は一部平面図であり、(c)は補強部材の断面図である。

【図 4】本発明の実施形態に係る玄関前構造物を構成する部材を説明する図であり、(a)は台座取付部材の横断面図であり、(b)は台座取付部材を背面側から見た図であり、(c)は台座取付部材を取り付けた部分の横断面図であり、(d)は台座取付部材を取り付ける部分の一部横断面図である。

10

【図 5】本発明の実施形態に係る玄関前構造物を構成する部材を説明する図であり、(a)はインターホンを取り付ける部分の縦断面図であり、(b)はインターホンを取り付ける部分を背面側から見た図である。

【図 6】本発明の実施形態に係る玄関前構造物を構成するインターホン取付台座の図であり、(a)は正面図であり、(b)は縦断面図であり、(c)はインターホンを固定した状態の側面図であり、(d)は他の正面図であり、(e)は他の側面図である。

【図 7】本発明の実施形態に係る玄関前構造物に内蔵取付けでインターホンを取り付ける状態を説明する図であり、(a)は玄関前構造物にインターホンを取り付けるときの図であり、(b)は玄関前構造物にインターホンを取り付けるときの一部縦断面図であり、(c)は玄関前構造物にインターホンを取り付けた状態の一部縦断面図であり、(d)は玄関前構造物にインターホンを取り付けた他の状態の一部縦断面図である。

20

【図 8】本発明の実施形態に係る玄関前構造物を構成する部材を説明する図であり、(a)はインターホンを取り付ける部分の一部縦断面図であり、(b)はインターホンを取り付ける部分を背面側から見た図であり、(c)は一部平面図である。

【図 9】本発明の実施形態に係る玄関前構造物に外付けでインターホンを取り付ける状態を説明する図であり、(a)は玄関前構造物にインターホン取付台座を取り付けるときの図であり、(b)は玄関前構造物にインターホン取付台座を取り付けるときの一部縦断面図であり、(c)(d)は玄関前構造物にインターホン取付台座を取り付けた状態の一部縦断面図である。

【図 10】本発明の実施形態に係る玄関前構造物に外付けでインターホンを取り付ける状態を説明する図であり、(a)は玄関前構造物にインターホンを取り付けるときの図であり、(b)は玄関前構造物にインターホンを取り付けるときの一部縦断面図であり、(c)は玄関前構造物にインターホンを取り付けた状態の一部縦断面図である。

30

【発明を実施するための形態】

【0009】

本発明の一実施形態の玄関前構造物について、正面にインターホンが設けられた玄関ボールの例をあげ、図面を参考にして説明する。

なお、本実施形態の説明において、建物の玄関の前に立設された玄関ボールの反建物側を正面側といい、建物側を背面側という。また、玄関ボールの中心に向かう側を内側といい、中心から離れていく側を外側という。

40

【0010】

(全体の構成)

図 1 に示すように、本実施形態の玄関ボール 1 は、正面と、背面と、左右両側面を有する断面矩形上の支柱状物であり、玄関ボール 1 の正面から上面を構成する正面板 11 と、両側面を構成する左右の側面板 12, 12 と、背面を構成する背面板 13 を有している。

【0011】

玄関ボール 1 は、例えば上から照明装置と、インターホン 5 と、ポスト等が配置されており、玄関ボール 1 の正面には、照明部分 A と、インターホン 5 の操作面 B と、ポストの投函口 C が設けられるとともに、玄関ボール 1 の背面には、ポストの取り出し口 D が設けられている。

50

【 0 0 1 2 】

玄関ポール 1 に配置された照明装置は、建物内に配置された電源との間で配線等されて接続されており、建物内のスイッチもしくは明るさセンサー等によって点灯する。

また、玄関ポール 1 に配置されたインターホン 5 は、建物内に配置された電源及び親機との間で配線等されて接続されており、インターホン 5 を操作することでチャイムを鳴らしたり、建物内の親機と通信したりできる。

【 0 0 1 3 】

以上のように、玄関ポール 1 には、各種の機能装置が設けられるが、該機能装置は、必ずしも当該玄関ポール 1 専用の装置ではなく、顧客の希望によってはさまざまな寸法や外形を有する装置を設けられることが好ましい。

特に、インターホン 5 に関しては、その寸法、外形等が様々で、玄関ポール 1 は、それら様々な寸法、外形を有するインターホンの取付けが可能であることが好ましい。

本実施形態の玄関ポール 1 は、種々のインターホンの取付けを可能にしている。

【 0 0 1 4 】

(インターホンの第 1 の取付例)

本実施形態の玄関ポール 1 における第 1 の取付例では、玄関ポール 1 はインターホン 5 を内蔵して取付けており、正面板 1 1 に設けられた開口部 1 1 1 a から、インターホン 5 の操作面 B が操作可能に露出している。

以下、インターホン 5 を内蔵して取付けるための構成について説明する。

【 0 0 1 5 】

本実施形態の玄関ポール 1 においては、インターホン 5 は、正面板 1 1 の左右両側の背面位置に高さ方向に沿って配置される長尺部材である補強部材 2 , 2 と、正面板 1 1 の開口部 1 1 1 a の上下位置に配置され、補強部材 2 , 2 と正面板 1 1 との間に挟まれて固定される上下の台座取付部材 3 , 3 と、上、下の台座取付部材 3 , 3 に固定されインターホン 5 を固定するインターホン台座 4 によって玄関ポール 1 の正面板 1 1 に取付けられる。

【 0 0 1 6 】

(正面板)

玄関ポール 1 の正面板 1 1 は、例えばアルミ型材からなり、図 2 (a) , (b) , (c) に示すように、玄関ポール 1 の正面を形成する正面板本体 1 1 1 と、正面板本体 1 1 1 の左右両端に設けられ左右の側面板 1 2 , 1 2 の正面側端縁が当接される凹部 1 1 2 , 1 1 2 と、正面板本体 1 1 1 の背面側に長手方向に沿って設けられる断面略 L 字状の 2 条の取付リブ 1 1 3 , 1 1 3 を有している。

【 0 0 1 7 】

正面板 1 1 の正面板本体 1 1 1 の所定の位置には、インターホン 5 の操作面 B が露出するインターホン切欠き部 (開口部) 1 1 1 a が形成されており、開口部 1 1 1 a の周りには、クッション材 1 1 1 b が両面テープ等によって取り付けられている。

そして、取付リブ 1 1 3 , 1 1 3 は、インターホン 5 が配置される位置において、切り欠かれている。

【 0 0 1 8 】

(補強部材)

正面板 1 1 の背面側の左右両側位置に、図 3 (a) , (b) に示すように、正面板 1 1 の長手方向に沿って補強部材 2 , 2 が配置されている。左右の補強部材 2 , 2 は、正面板 1 1 の長手方向の長さとはほぼ同じ長さを有する断面中空形状の長尺部材により形成されており、正面板 1 1 の凹部 1 1 2 , 1 1 2 に当接される側面板 1 2 , 1 2 に対して、図示しないネジ等の固定手段によって固定されている。なお、図 3 (a) においては、側面板 1 2 は省略されている。

【 0 0 1 9 】

補強部材 2 , 2 は、アルミ合金等の金属材料からなり、図 3 (c) に示すように、中空部 2 1 と、中空部 2 1 の内側背面側端部より背面方向に延びる片 2 2 を有しており、中空部 2 1 の内側正面側の角部をへこませて正面側面 2 1 b と内側面 2 1 c とからなる段部 2

10

20

30

40

50

1 a が設けられている。

補強部材 2 , 2 は、正面板本体 1 1 1 の取付リブ 1 1 3 , 1 1 3 よりも左右外側に配置されている。

【 0 0 2 0 】

(台座取付部材)

正面板 1 1 の背面側で開口部 1 1 1 a の上下位置には、インターホン台座 4 を固定するための台座取付部材 3 , 3 が設けられる。

台座取付部材 3 は、アルミ合金等の金属材料からなり、開口部 1 1 1 a よりも大きな幅寸法を有し、高さ方向に短い短尺部材として形成されている。

【 0 0 2 1 】

10

台座取付部材 3 は、図 4 (a) , (b) に示すように、インターホン台座 4 を取り付けるための平板状の台座取付部 3 1 と、台座取付部 3 1 の左右両端から背面方向に突出する側壁部 3 2 , 3 2 と、台座取付部 3 1 の左右両側から延びて側壁部 3 2 , 3 2 からさらに左右方向に延設された取付片部 3 3 , 3 3 と、台座取付部 3 1 の正面側左右位置に正面方向に延設されたリブ部 3 4 , 3 4 を有している。

【 0 0 2 2 】

台座取付部 3 1 の左右両側には、それぞれ上下方向に一つの長孔 3 1 a と、2 つのネジ孔 3 1 b , 3 1 c が形成されており、取付片部 3 3 には、ネジ孔 3 3 a が形成されている。また、必要に応じて、側壁部 3 2 にネジ孔を形成してもよい。

【 0 0 2 3 】

20

台座取付部材 3 は、図 4 (c) , (d) に示すように、取付片部 3 3 , 3 3 の背面側を側面板 1 2 , 1 2 に固定された補強部材 2 , 2 の正面側面 2 1 b に当接させ、ネジ孔 3 3 a , 3 3 a を介して補強部材 2 , 2 の段部 2 1 a の正面側面 2 1 b にネジ等の固定手段 b 1 によって固定される。

【 0 0 2 4 】

補強部材 2 , 2 に台座取付部材 3 を固定した後に、正面板 1 1 を、図 4 (c) の矢印 x に示すように、玄関ポール 1 の正面及び上面を覆うように嵌め込んで、裏面側から正面板 1 1 の取付リブ 1 1 3 , 1 1 3 に対して台座取付部材 3 , 3 の台座取付部 3 1 に形成した長孔 3 1 a , 3 1 a を介してビス等の固定手段 b 2 によって固定する。

補強部材 2 , 2 及び正面板 1 1 に固定された台座取付部材 3 , 3 は、図 5 (b) に示すように、正面板 1 1 の開口部 1 1 1 a の上下位置に配置され、図 5 (a) に示すように、正面板 1 1 の背面から前後方向で距離 t 1 だけ離れた位置に台座取付部 3 1 が配置される。

30

【 0 0 2 5 】

(インターホン台座)

正面板 1 1 の背面側で開口部 1 1 1 a の上下位置に形成された台座取付部材 3 , 3 に、インターホン台座 4 が取付けられる。

インターホン台座 (取付部材) 4 は、例えばスチール等の金属材料からなり、図 6 (a) , (b) に示すように、インターホン 5 が取り付けられるインターホン取付部 4 1 と、玄関ポール 1 に固定された台座取付部材 3 , 3 の台座取付部 3 1 , 3 1 に固定される上固定部 4 2 及び下固定部 4 3 と、インターホン取付部 4 1 と上固定部 4 2 及び下固定部 4 3 とを連結する上連結部 4 2 1 及び下連結部 4 3 1 が一体的に形成されている。

40

【 0 0 2 6 】

インターホン取付部 4 1 と上固定部 4 2 及び下固定部 4 3 は、それぞれ平行な面で形成されており、玄関ポール 1 に取付けた際に、正面板 1 1 の表面に直交する方向で位置がずれるように形成されている。

【 0 0 2 7 】

インターホン取付部 4 1 には、適宜位置にインターホン 5 等を取り付けるための取付孔 4 1 a が形成されており、適宜配線を通す孔等が形成されている。また、上固定部 4 2 には、左右端部近傍にビス等の固定手段 b 3 を挿通する挿通孔 4 2 a , 4 2 a が形成されて

50

おり、下固定部 4 3 には、左右端部近傍にビス等の固定手段 b 3 を挿通する挿通溝 4 3 a , 4 3 a が下固定部 4 3 の下端から切欠かれて形成されている。

【 0 0 2 8 】

インターホン 5 を玄関ポール 1 に対して内蔵取付けする際には、図 6 (c) に示すように、インターホン台座 4 は、インターホン取付部 4 1 の上固定部 4 2 及び下固定部 4 3 が存在する側の面に、インターホン 5 がビス等の固定手段により取り付けられている。

【 0 0 2 9 】

インターホン 5 が取付けられたインターホン台座 4 、すなわちインターホン台座 4 が取付けられたインターホン 5 は、図 7 (a) に示すように、背面板 1 3 が外された、玄関ポール 1 の背面より、インターホン取付部 4 1 が背面側に位置し、上、下固定部 4 2 , 4 3 が正面側に位置する状態で挿入され、図 7 (b) に示すように、正面板 1 1 の開口部 1 1 1 a の周りに配置されたクッション材 1 1 1 b に対してインターホン 5 の正面側が当接するまで挿入される。

【 0 0 3 0 】

インターホン 5 が取付けられたインターホン台座 4 は、図 7 (c) に示すように、インターホン 5 の正面側がクッション材 1 1 1 b に当接した状態で、上固定部 4 2 及び下固定部 4 3 と台座取付部材 3 , 3 の台座取付部 3 1 , 3 1 を固定するビス等の固定手段 b 3 を締め付けることで、インターホン 5 は、クッション材に圧接して正面板 1 1 の背面とインターホン台座 4 によって挟持され、安定した取付けを行うことができる。

【 0 0 3 1 】

具体的には、インターホン台座 4 は、図 8 (a) , (b) , (c) に示すように、上固定部 4 2 に形成された挿通孔 4 2 a , 4 2 a を通したビス等の固定手段 b 3 を開口部 1 1 1 a の上側に固定された台座取付部材 3 の台座取付部 3 1 のネジ孔 3 1 b もしくはネジ孔 3 1 c に螺合するとともに、下固定部 4 3 に形成された挿通溝 4 3 a , 4 3 a を通したビス等の固定手段 b 3 を開口部 1 1 1 a の下側に固定された台座取付部材 3 の台座取付部 3 1 のネジ孔 3 1 b もしくはネジ孔 3 1 c に螺合することで取り付けられる。

なお、図 8 においては、インターホン 5 を省略して記載しているが、実際には、図 8 (a) , (c) に示すスペース S にインターホンが配置されることとなる。

【 0 0 3 2 】

なお、本実施形態の玄関ポール 1 において、厚み寸法が小さいインターホン 5 を内蔵取付けする場合には、図 7 (d) に示すように、例えば長さの異なるネジ等の固定手段 b 4 を用いて固定することで対応することができ、玄関ポール 1 を構成する部材を変更することなく、さまざまな厚み寸法を有するインターホン 5 を取り付けすることができる。

【 0 0 3 3 】

上記のように、玄関ポール 1 に対してインターホン 5 を取り付けに際して、玄関ポールの長手方向に沿って配置した補強部材 2 , 2 に固定された上下の台座取付部材 3 , 3 およびインターホン台座 4 を介して取り付けすることで、強度の高い取付が可能であり、台座取付部材 3 , 3 をインターホン 5 が露出する開口部の上下位置のみに配置することで、幅の小さい玄関ポール 1 に対してインターホン 5 の安定した取付けが可能である。

【 0 0 3 4 】

(インターホンの第 2 の取付例)

本実施形態の玄関ポール 1 は、第 1 の取付例で使用した各部材を変更することなく、インターホン 5 を玄関ポール 1 の正面に外付けすることができる。したがって、第 2 の取付例によれば、外形が意匠的に優れているインターホン 5 を、玄関ポール 1 に外形を露出させた状態で取り付けすることができる。

以下、インターホン 5 を外付するための構成について説明する。

なお、インターホン 5 を外付けするための補強部材 2 、台座取付部材 3 、インターホン台座 4 は、インターホン 5 を内蔵取付けするときに使用するものと共通であるので、その具体的な形状等の説明は省略する。

【 0 0 3 5 】

(インターホン台座)

インターホン 5 を外付けする場合においても、正面板 1 1 の背面側で開口部 1 1 1 a の上下位置に固定された台座取付部材 3 の台座取付部 3 1 に対して、ビス等の固定手段 b 3 によってインターホン台座 4 が取付けられる。ただし、インターホン 5 を玄関ポール 1 に外付けするに際しては、インターホン 5 は予めインターホン台座 4 に取付けられてはならず、正面板 1 1 に対してインターホン台座 4 を反転させて取り付ける。

【0036】

具体的には、図 9 (a) に示すように、インターホン 5 が取り付けられていないインターホン台座 4 が、インターホン取付部 4 1 が正面側に位置し、上、下固定部 4 2 , 4 3 が背面側に位置する状態で、玄関ポール 1 の背面から玄関ポール 1 内に挿入される。

10

【0037】

玄関ポール 1 内に挿入されたインターホン台座 4 は、図 9 (b) , (c) に示すように、インターホン取付部 4 1 の上、下固定部 4 2 , 4 3 が存在する側の反対側(ここでは、正面側)の面が正面板 1 1 の開口部 1 1 1 a の周りに配置されたクッション材 1 1 1 b に当接するとともに、上、下固定部 4 2 , 4 3 のインターホン取付部 4 1 が存在する側(ここでは、正面側)の面が台座取付部材 3 , 3 の台座取付部 3 1 に当接する。

すなわち、インターホン台座 4 の上、下連結部 4 2 1 , 4 3 1 の幅寸法 t 2 が、正面板 1 1 の背面から台座取付部 3 1 までの距離 t 1 と同程度に形成されていることが好ましい。

【0038】

20

そして、インターホン台座 4 は、図 9 (c) に示すように、上、下固定部 4 2 , 4 3 の正面側が台座取付部材 3 , 3 の台座取付部 3 1 に当接した状態で、ビス等の固定手段 b 3 が締め付けられることで、図 10 (a) に示すように、インターホン取付部 4 1 の上、下固定部 4 2 , 4 3 が存在する側の反対側の面が正面板 1 1 の開口部 1 1 1 a から露出するように玄関ポール 1 に固定される。

【0039】

玄関ポール 1 に外付けされるインターホン 5 は、ベース 5 2 とインターホン本体 5 1 とを有し、図 10 (a) , (b) に示すように、正面板 1 1 の開口部 1 1 1 a から露出したインターホン台座 4 のインターホン取付部 4 1 の上、下固定部 4 2 , 4 3 が存在する側の反対側の面に対してベース 5 2 がビス等の固定手段 b 5 及び取付孔 4 1 a , 4 1 a によって固定され、インターホン本体 5 1 が係合等適宜の方法でベース 5 2 に対して固定されることで、図 10 (c) に示すように、玄関ポール 1 の正面板 1 1 の正面側にインターホン 5 を外付けすることができる。

30

【0040】

(その他の実施形態)

本実施形態のインターホン取付構造は、玄関ポール 1 にインターホン 5 をとりつけない場合にも対応できる。

具体的には、図 6 (d) , (e) に示す、インターホン台座 4 を、インターホン取付部 4 1 に目隠し材 4 5 を張り付けた目隠しカバー材として使用する。そして、玄関ポール 1 にインターホン 5 を外付けするときのインターホン台座 4 の取り付け方法と同様に、目隠しカバー材(インターホン取付台座) 4 を玄関ポール 1 に取付ける。

40

【0041】

なお、目隠し材 4 5 は、開口部 1 1 1 a と同程度の寸法を有し、インターホン台座 4 のインターホン取付部 4 1 において、正面板 1 1 の開口部 1 1 1 a から露出する部分に両面テープ 4 5 a 等によって張り付けばよい。

【0042】

玄関ポール 1 に固定された目隠しカバー材(インターホン取付台座) 4 は、図 9 (d) に示すように、目隠し材 4 5 が開口部 1 1 1 a 部分に配置されることで、玄関ポール 1 の正面側をスムーズに見せることができる。

【0043】

50

また、上記のインターホンの第2の取付例においては、インターホン台座4を反転させて、インターホン5を玄関ポール1に外付けする場合の説明をしているが、インターホン5の厚さが図7(d)に示すインターホン5よりもさらに小さい場合などには、インターホン台座4を反転させたうえでインターホン5を内蔵して取り付けることもできる。

例えば、図9(b), (c)に示す固定手段b3のネジの長さを長くすることで、インターホン取付部41と正面板11との間にインターホンを配置する空間を形成し、幅の小さいインターホン5を内蔵するようにしてもよい。

【0044】

(実施形態の効果)

以上のように、本実施形態の玄関ポールは、インターホンの固定に、インターホンを固定するインターホン取付部と玄関ポールに固定するための固定部をインターホンの正面に直交する方向にずらして形成したインターホン取付台座を用い、インターホン取付部の両面にインターホンを固定可能にして反転させて玄関ポールに取付けできるようにすることで、共通の固定部品を用いて、玄関ポールに対してインターホンを内蔵取付けと外付けの両方に対応できる。また、厚みの異なるインターホンの取付けに対して柔軟に対応することができる。

10

【0045】

つまり、玄関ポールに対するインターホンの内蔵取付けと外付けもしくは厚みの異なるインターホンの取付けを同一の部品で兼用して行うことができるので、部品管理が良好であるとともに、穴あけ等の加工が不要であり、施工を容易にすることができる。

20

【0046】

その他、以上の実施形態は、請求項に記載された発明を限定するものではなく、例示として取り扱われることは言うまでもない。

例えば、本発明の玄関前構造物は、一般的にインターホンが設けられる位置が玄関前であることから玄関前構造物との名称を採用しているが、玄関前構造物は玄関ポールに限定されるものではなく、インターホンが取付けられる門柱等の構造物でもよいし、さらには玄関以外の出入り口の近傍に設けられる構造物であってもよい。

【符号の説明】

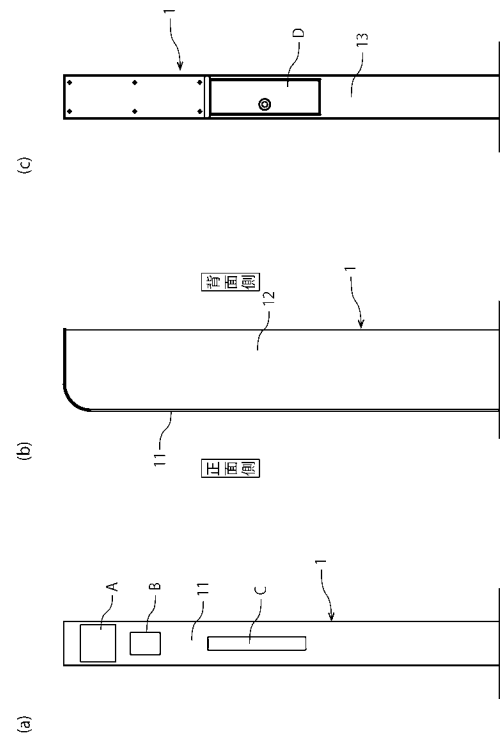
【0047】

- 1 : 玄関ポール(玄関前構造物)
- 11 : 正面板
- 111a : 開口部
- 2 : 補強部材
- 3 : 台座取付部材
- 4 : インターホン台座(取付部材)
- 41 : インターホン取付部
- 42 : 上固定部
- 43 : 下固定部
- 5 : インターホン

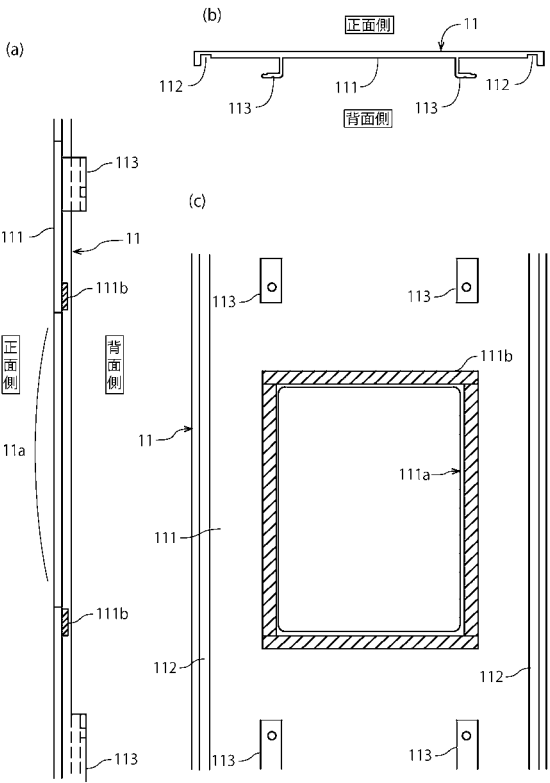
30

40

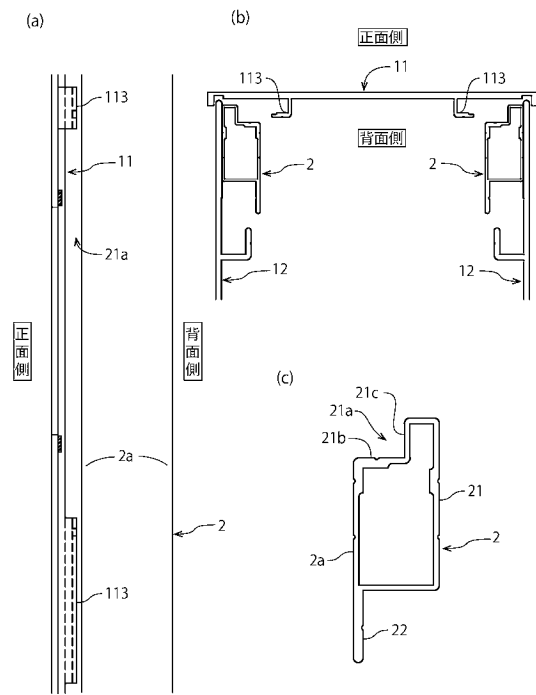
【図 1】



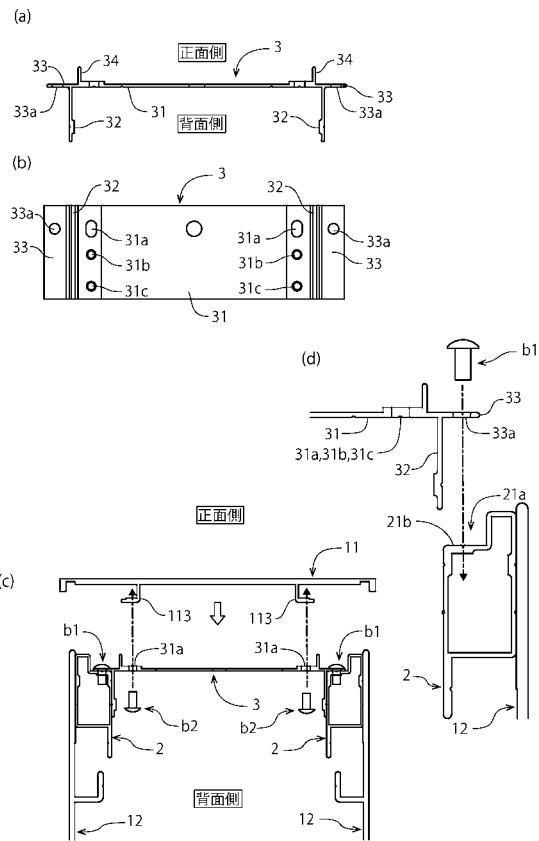
【図 2】



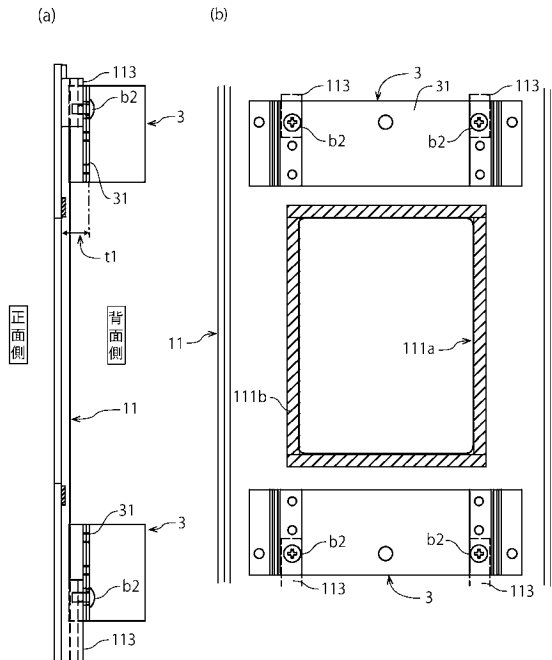
【図 3】



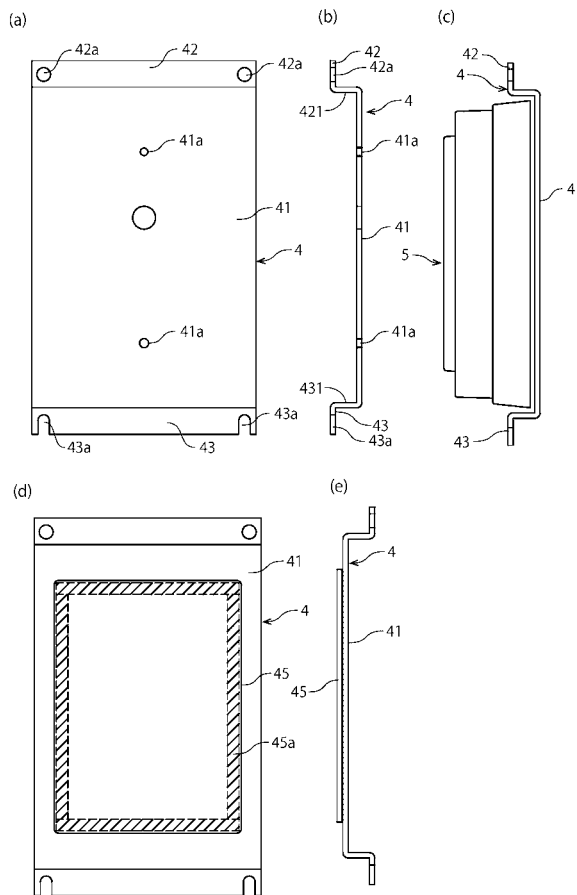
【図 4】



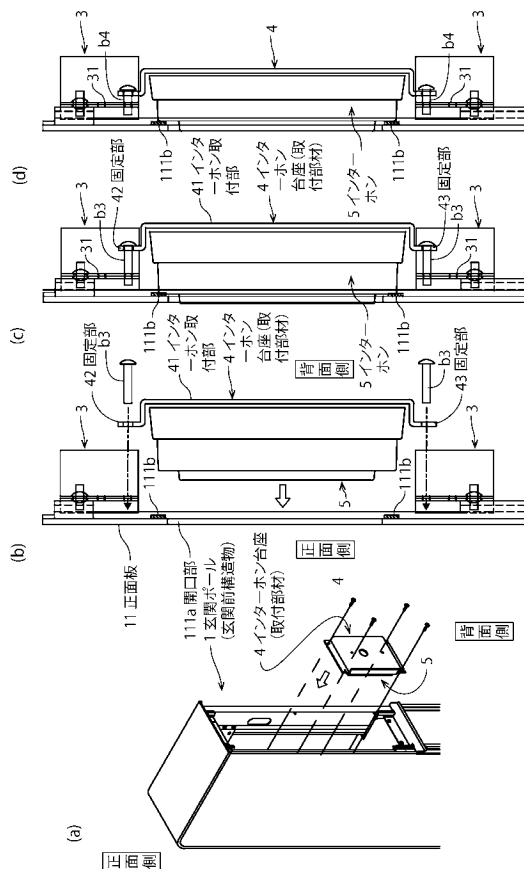
【 図 5 】



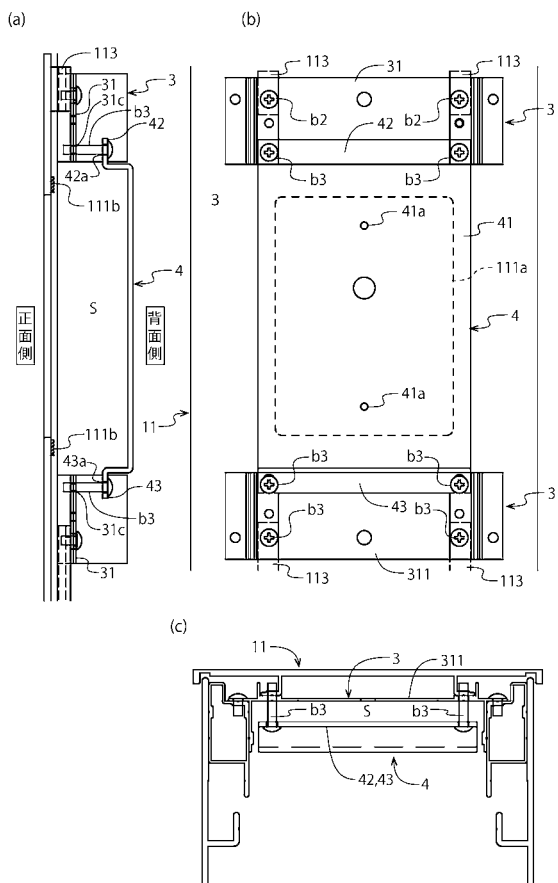
【 図 6 】



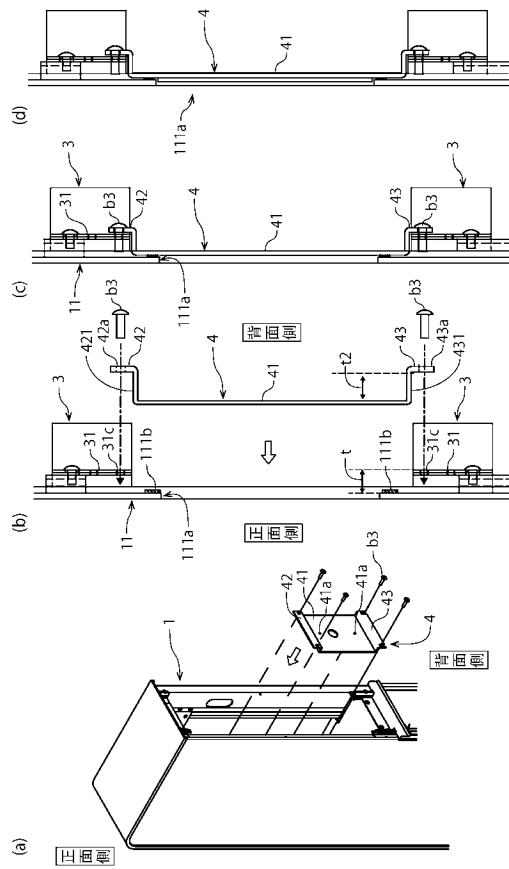
【 図 7 】



【 図 8 】



【図 9】



【図 10】

